

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合（％）上下水道課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
88.80	90.10	89.50	89.50	89.50	90.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では0.6ポイント低下しましたが、基準値との比較では0.7ポイント増加しました。 （原因）アンケートの結果、昨年度との比較では、石綿管更新工事を実施した北守谷地区やみずき野地区では増加しましたが、守谷地区や南守谷地区では低下しました。地区別及び世代別の満足度も昨年度との比較で増減にバラつきがあり、傾向が掴みにくい結果でした。昨年度は水道法が改正され、メディア等で水道事業の運営が民間事業者に移行されるのではないかと誤解があったことが低下した要因のひとつと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

下水道放流水質基準の適合率（％）上下水道課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100％となっています。 （原因）浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業場排水調査に基づく適切な事業所への指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値を達成できたと考えられます。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,185,136	3,559,086	4,388,418	4,407,341	4,233,980
人件費	82,717	90,376	99,368	0	0
トータルコスト	4,267,853	3,649,462	4,487,786	4,407,341	4,233,980

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 水道水の安定供給	維持	低下				1,041,294	992,498	1,157,080	1,279,342	1,115,043
02 汚水の安定処理	維持	低下				1,148,617	637,305	983,147	808,071	805,386
03 雨水の適正排水	維持	横ば				6,798	8,896	57,150	29,500	30,389
04 健全な上下水道事業の経営	向上	低下				249,266	156,147	235,327	213,186	181,020
99 施策の総合推進						1,739,161	1,764,240	1,955,714	2,077,242	2,102,142

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水の供給と汚水処理を継続するため、新たな水道計画及び下水道計画に基づいた事業の実施に取り組む。 2020年度の県水受水の増量に対応するため、後塩施設（塩素注入設備）を増強する。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

昨年度策定した上下水道事業の経営戦略の結果、計画期間である令和10年度までは安定した事業運営が見込まれますが、中長期的には更新費用の増加により上下水道料金を改定し資金を確保する必要があります。そのため、経営戦略に基づき、確実に老朽化施設の更新を進め、投資を先送りしないように取り組みます。 令和元年度に老朽化した次亜注入施設を更新するとともに、県水の受水増量に対応できるよう県企業局と連携し試運転を実施し、できるだけ前倒しで浄水施設による水運用を廃止し費用の抑制に努めます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、平成30年度に策定した上下水道事業の経営戦略に基づき、老朽化施設の更新の平準化を図り、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減